

紙かみってる紙研究隊

「みんなで協力して、最後までやり遂げたい」「色々な人と関わりたい」年度当初、「大岡の学習」で大切にしたいことを話し合う中で、子どもたちの中から出てきた言葉です。自分たちが作ったもので、地域の人と交流していきたいという思いが膨らんでいきました。自分たちの身の回りにある紙ごみから何かに変身させ、まちの人と関わることはできないかと考えるようになりました。一年生に牛乳パックの開け方を教えてあげる活動から、リサイクルへの思いが強くなり、自分たちが作った紙を使って、いろいろなことができるのではないかと、夢を膨らませ単元が立ち上がりました。



まず、牛乳パックから本当に紙は作れるのだろうかという思いで紙づくり活動を行いました。牛乳パックから紙が作れたことの驚きや、大変さを感じ、紙への愛着を高めているようでした。二回目の紙づくりでは、自分たちの理想の紙にするために一回目の課題や成功したことを生かし活動する姿が見られました。今後は、真っ白い紙ではなく、色のついた紙や、紙の中に毛糸や葉っぱなどを入れるなど、工夫した紙を作っていきたいという思いが膨らみはじめています。自分たちの気持ちがかもった紙を利用して、地域の人と交流を深められるように今後も活動していきます。

